

神明神社

祝
創建千三百五十年記念祭



神明神社

神明神社は、宇治茶の産地として知られる宇治市宇治の南西に鎮座されている。

その場所は、古くから栗隈越え(くりくまごえ)と呼ばれて、京都と奈良を結ぶ「奈良街道」が宇治丘陵を通過する峠の上にあたります。そのため社名を「栗隈神明」(くりくましんめい)または、(くりこのしんめい)とも呼びました。

史料によると、15世紀の初期かまたはそれよりも古くから、伊勢の御師(おしー伊勢神宮への信仰を広めるために全国へ出歩いた神宮関係の信仰指導者)によって、ここに伊勢の神が祭り始められたものと考えられる。

大木や古樹が繁茂する境内には、唯一神明造り(ゆいいつしんめいつくり)という伊勢の内宮・外宮と同様の本殿が二棟あって、それぞれ天照大神(あまてらすおおみかみ)・豊受大神(とようけのおおみかみ)が勧請(かんじょう)(呼び迎えて祭ること)されている。

御由緒

当社は、白鳳二年四月(674)天武天皇の詔により、栗子山に神殿を造営、市杵嶋比売命を祭神として神明神社と称えられたのが起源とされる。

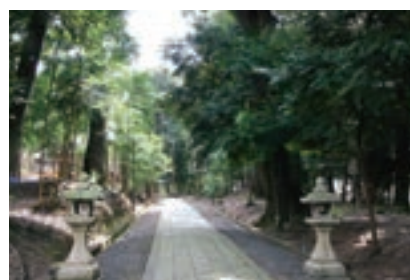
桓武天皇延暦十三年(794)都を平安京に遷され、当地が都の巽に当たるので伊勢皇大神宮を勧請この地を宇治と号し屢々(しばしば)行幸された。

その後、延喜四年(904)醍醐天皇の詔により新たに社殿を造営された。

稲倉魂命の御分霊を祭り歴代天皇が行幸されたが、南北朝の争い等により社殿は大破する等したので、康和元年四月(1099)に現在地の洛南の景勝地であった神明山に移されたが、たび重なる兵乱により神領は減少し現代に及んでいる。

なお、境内に成育している巨大な「しいの木」「しゃしゃんぼの木」「ななみの木」などは、宇治市名木百選選定木となっている。

また、山崎の合戦に敗れた明智光秀が山階(やましな)に逃れる途次隠れたと言伝えのある古井戸を藻隠池と称し現存している。



『神社の歴史』

伝えられるところでは、都が平安京(京都)に移されたころ、伊勢の国から内宮と外宮の神が勧請されたというが、史料(書きしるされた記録)によると、「康富記(やすとみき)」（公家中原康富の日記）の嘉吉二年（一四四二年）九月二十七日のところに、「参詣宇治神明」とあり、その翌日の記事に、「宇治より上洛(京都へ行くこと)のところ、木幡にて庭田少将などの神明参りに行き会った。お供するようと言われるので、また後戻りして神明にお参りした」と書かれているのが、この神社があったことを証明する最も古い記録である。しかし、「看聞御記(かんもんぎょき)」（伏見宮貞成親王(ふしみのみやさだふさしんのう)の日記)の応永二十三年（一四一六年）七月二十六日の部分に「京都の下(しも)(南の方角)に住んでいる男が、宇治の今伊勢へ参詣したところ、社頭(しゃとう)(神社の前)のあたりに白いへびがいた」という記事がある。この「宇治の今伊勢」は、当神社のことであると考えられるから、十五世紀の初期か、またはそれよりも古くから、伊勢の御師(伊勢神宮への信仰を広めるために全国へ出歩いた神宮関係の信仰指導者)によって、ここに伊勢の神が祭りはじめられたものと考えられる。

現在、城南荘連合町内会・神明連合町内会・開地区自治連合会・羽拍子東町内会・神明石塚町内会・鐘紡石塚町内会・神明ヶ丘町内会・神明の森町内会・石塚中央自治会の地域にお住まいになる皆様の氏神様として崇敬され、今日に至っている。

御祭神

内宮 天照大神(あまてらすおおみかみ) 豊秋津姫命(とよあきつひめのみこと) 手力雄命(たぢからおのみこと)

外宮 豊受大神(とようけのおおみかみ) 瓊瓊杵尊(ににぎのみこと) 天太玉主命(あまのふとたまのみこと)

巖島神社 市杵嶋姫命(いちきしまひめのみこと)

末社 結社 高皇産霊大神(たかみむすびのおおみかみ) 神皇産霊大神(かみむすびのおおみかみ) 住吉社 表筒男命(うわつつおのみこと) 中筒男命(なかつつおのみこと) 底筒男命(そこつつおのみこと) 蛭子社 言代主命(ことしろぬしのみこと) 風宮・雨宮 級長戸辺命(しいなとべのみこと) 級長津彦命(しいなつひこのみこと) 天満宮 菅原道真(すがわらのみちざね) 稲荷社 稲倉魂命(うかのみたまのみこと) 春日社 天兒屋根命(あめのこやねのみこと) 猿田彦社 猿田彦命(さるたひこのみこと)

羽拍子神社 天照大神(あまてらすおおみかみ) 級長津彦命(しなつひこのみこと) 級長津姫命(しなつひめのみこと)

(付記)若原先生の御由緒略記を引用



年中祭事



元旦祭 内宮



元旦祭 内宮拝礼



元旦祭 おみくじ



元旦祭 お参り風景



元旦祭 接待



受付



左義長



左義長



節分祭 お祓い



節分祭 参拝



節分祭 参拝



節分祭 甘酒接待



節分祭 甘酒接待



節分祭



弁天祭 拝礼

年中祭事



みたま移しの儀 (羽拍子東町内会)



みたま移しの儀 (神明石塚町内会)



みたま移しの儀 (開地区自治連合会)



みたま移しの儀 (城南荘連合町内会)



みたま移しの儀 (神明連合町内会)
(石塚中央自治会)



大祭



大祭



大祭



子供みこし



子供みこし



子供みこし



巫女舞



神楽



お火焚祭

一月一日	元旦祭
一月十五日	左義長
二月三日	節分祭
七月十五日	弁天祭
十月第二日曜日	大祭
十二月十六日	お火焚祭
毎月一日	月次祭

年中祭事

